

大正十二年勅令第四百十號
(承諾ヲ求ムル件) 委員會議錄(筆記) 第一回

委員會成立

本委員ハ大正十二年十二月十四日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレタリ

中西 六三郎君	小久保 喜七君
清瀬 規矩雄君	内山 安兵衛君
栗林 五朔君	大林 森次郎君
宮崎 友太郎君	長谷川 宗治君
野呂 駿三君	上塚 司君
原 夫次郎君	横山 金太郎君
岡本 幹輔君	清水 留三郎君
神谷 彌平君	小橋 藻三衛君
砂田 重政君	山本 藤助君

同月十五日午前十時三十分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス

其ノ氏名左ノ如シ

中西 六三郎君	清瀬 規矩雄君
大林 森次郎君	宮崎 友太郎君
長谷川 宗治君	上塚 司君
横山 金太郎君	岡本 幹輔君
清水 留三郎君	神谷 彌平君
小橋 藻三衛君	砂田 重政君
山本 藤助君	

年長者長谷川宗治君投票管理者トナル

○長谷川投票管理者ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○大林委員ハ投票ヲ用キス中西六三郎君ヲ委員長ニ推薦シ理事ハ其ノ數ヲ三名トシ委員長ノ指名ニ

一任スヘシトノ意見ヲ提出ス

○長谷川投票管理者ハ大林君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ中西六三郎君ハ委員長ニ當選シタル旨ヲ宣告ス

(中西六三郎君委員長席ニ着ク)

○中西委員長ハ原夫次郎君大林森次郎君及砂田重政君ヲ理事ニ指名シ引續キ會議ヲ開クヘキ旨ヲ宣告ス

會議

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主税局長 黒田 英雄君
大藏書記官 草間 秀雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

大正十二年勅令第四百十號(承諾ヲ求ムル件)
(租税減免ノ件)

○中西委員長 會議前ニ一寸御報告申上ゲマス、理事ノ指名ヲ委員長ニ委託サレテ居リマシタカラ、委員長ヨリ原夫次郎君、大林森次郎君、砂田重政君ヲ御指名申上ゲマス、是ヨリ會議ヲ開キマス、一應政府委員ノ説明ヲ求メマス

○黒田政府委員 只今御承諾ヲ求メル爲ニ議題ニナッテ居リマスル勅令第四百十號ニ付キマシテ、御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、此緊急勅令ガ制定セラレマシタコトニ付キマシテハ、昨日日本議場ニ於キマシテ、大藏大臣ヨリ其理由ヲ詳細申上ゲタノデマリマスガ、尙ホ是等ノ内容等ニ付キマシテ、少シ

ク御説明ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、過般ノ震災ノ當時ニ於キマシテ、帝都ノ大半ガ焦土ニ歸シマシタヤウナ次第デアリマス、尙ホ横濱其他ノ附近ニ非常ナル慘害ニ遭ッタノデアリマスガ、當時人心ハ非常ニ不安ニ陥リマシテ、多クノ人ガ其住宅又ハ家財ヲ焼カレマシテ、衣食住ノ上ニ非常ナ脅威ヲ被リマシタコトハ、茲ニ申上ゲル迄モナイノデアリマス、時ハ恰モ第三種所得税ノ決定ノ通知ヲ發シマシタ所、又ハ發セントシテ居ル時期デアリマシテ、第三種所得税ノ第一期ノ納期ガ開始スル日デアッタノデアリマス、又九月ニ於キマシテハ畑地租、雑地租ノ納期ガ開始サレルト云フ狀況デアリマシタガ、前申スヤウニ非常ニ人心ガ不安ニ陥ッテ居ル際ニ於テ、所得税ノ決定ヲ致シマシテ之ヲ通知スル、竝ニ是等ノ税金ヲ徵收スルト云フコトハ、人心ニ對シテ惡イ影響ヲ及ボス、人心ノ安定ヲ促ス所以デハナイト考ヘマシタノデ、是等ノ租税ニ付キマシテハ、ソレノ税法ニ於キマシテ色々ノ減免ノ規定ガアルノデアリマスガ、併シ是等ハ平時ノ事デアリマス、例ヘバ所得税ニ於キマシテハ第六十四條ニ於キマシテ、其所得額ガ四分ノ一減損シタ場合ニ於キマシテハ、減損ノ更訂ヲスル、或ハ營業税ニ於キマシテモ、第二十九條ニ於キマシテ其年ノ收益ガ税額ニ達シマセヌ場合ニ於キマシテハ、其不足分ヲ免除スルト云フヤウナ、色々ノ規定ガアルノデアリマス、併ナガラ當時ニ於キマシテハ、非常ニ多數ノ人ガ其生活ノ安定ヲ脅カサレ

テ、住宅並ニ家財ヲ失フト云フ風ナ狀況ニナッテ居ルノデアリマスカラ、平時ノ常規ニ依リマセズ、御承知ノ通り所得稅ニ於キマシテハ、其年ノ所得ガ減損致シマセヌ場合ハ、假令其資產ヲ失ヒ減少ヲ致シマシテモ、所得稅ハ何等輕減免除ヲシナイコトニ立前ガナッテ居リマスガ、此原則ニ對シマシテ非常ナル例外ヲ設ケマシテ、斯ウ云フ際ニ於テハソレ等ノ人ノ租稅負擔ノ能力ガ非常ニ減ジテ居ル、減損サレテ居ルノデアリマスカラ、之ニ對シテ平時ノ原則ニ非常ナル例外ヲ設ケマシテ、是等ヲ輕減シ、低イ金額、低イ納稅額、即チ租稅負擔ノ力ノ少イ人ニ於キマシテハ、之ヲ免除スルト云フ風ニ致シマシテ、人心ノ安定ヲ圖リ、且ツ復興ヲ速ニシ、其機運ヲ促スト云フコトノ爲ニ、是等ノ規定ヲ設ケラレタノデアリマス、先ヅ第一條ニ於キマシテ、大正十二年分ノ、即チ本年分ノ第三種所得稅及營業稅ニ付キマシテ、納稅者ノ被害ノ狀況ニ應ジマシテ、輕減免除ガ出來ルト云フコトニ致シタノデアリマス、是等ノ詳細ノ規定ハ、色々ノ事情ヲ調査シテカラダナケレバナラスノデアリマスカラ、之ヲ普通ノ勅令ニ讓ラレマシテ、其爲ニ勅令ノ第四百三十三號ヲ制定シタノデアリマス、第三種所得稅並ニ營業稅ト云フモノヲ擇ビマシタノハ、前申シマス通り、第三種ノ所得稅ガ當時恰モ本年分ノ所得金額ノ決定ヲ了リマシテ、之ヲ通知致シタ所モアリマスシ、是カラ通知ヲ致ス所モアルノデアリマシテ、其當時ニ於テハ目前ニ追ッテ居ルノデアリマスカラ、又是等ノ納稅者ハ非常ニ多數ニ上ッテ居ッタノデアリマス、又營業稅ニ於キマシテハ、既ニ第一期ハ濟ンデ居リ

マシテ、第二期ガ十一月ニ參ルコトニナッテ居ッタノデアリマス、是等ノ營業者モ其店舖ヲ燒キ、或ハ其商品ヲ燒イテシマッテ、非常ニ營業上ニ打撃ヲ受ケテ居ルノデアリマスカラシテ、是等ニ付キマシテモ、速ニ此被害ノ狀況ノ著シイ場合ニ早クドウ云フ風ニスル、ドウ云フ風ニ輕減免除ヲスルト云フコトヲ決メマシテ、稅務ノ當局ニ於テハソレ等ノ調査ニ著手シナケレバナラスノデアリマス、又納稅者ニ於キマシテハ、如何ニナルカト云フコトニ付テ安心ヲサセルト云フコトガ必要デアッタノデアリマスカラシテ、此第三種ノ所得稅ト營業稅ニ付キマシテ輕減免除ヲスルト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレ等ノ詳細ノ事ハ勅令四百三十三號ニ規定サレテアルノデアリマスガ、大體ヲ申上ゲマスルト第三種所得稅ニ付キマシテハ、其自分ノ所有シテ居ル所ノ住宅ヲ燒カレ、或ハ其家財ノ大半ヲ失ッタト云フ風ナモノニ付キマシテハ、大體此所得金額ガ一万圓以下ノモノデアリマシタナラバ之ヲ全免ヲスル——全部免除スルト云フコトニ致シタノデアリマス、是ハ所得金額ノ一万圓以下ノ人デアリマスルナラバ、其住宅或ハ家財ノ大半ガ燒ケテシマヒマシタナラバ、是ハ勿論一万圓以上ノ損害ヲ來シテ居ルコトハ、大體ニ於テ推定ガ出來ルノデアリマスルカラ、是等ハ全部免除スルコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ一万圓以上ノモノニ付キマシテハ、其損害ノ程度ニ依リマシテ、輕減致シマスル所ノ金額ニ等差ヲ設ケマシタノデアリマス、是ハ小所得者ニ付キマシテハ、其苦痛ガ大ナルノデアリマスカラシテ多クヲ免除シ、大ナル所得者ニ付キ

マシテハ、其損害ハ非常ニ大デアリマシテモ、尙ホ其處ニ相當ナ餘力ヲ持得ルノデアリマスカラシテ、ソレ等ニ付キマシテハ輕減ノ率ヲ減シタノデアリマス、尙ホ此所得ノ生ジマスル本デアリマシタ所ノモノヲ失ヒマシタ者ニ付キマシテハ、ソレ等ノ損害額ヲ所得金額カラシテ控除スルコトニ致シタノデアリマス、是ハ前申上ゲマスル通り、今日ノ稅法ノ立法ニ於キマシテハ非常ナル例外ニナルノデアリマス、即チ所得ノ基本デアリマスル所ノ資產ヲ減シタトキニ、其見積金額ヲ其年ノ所得カラ引クノデアリマスカラ、所得金額ハ少シモ減ジテ居ラスノデアリマス、例ヘテ見マスレバ醫者ガ其病院ヲ燒キマストカ、或ハ營業者ガ其營業場ヲ燒キマストカ云フ風ナ場合、或ハ貸家ノ所得ヲ得テ居ッタ者ガ、其貸家ヲ燒イテシマッテ云フ風ナ場合ニ於キマシテ、其損害ヲ見積リマシテ、之ヲ所得金額カラシテ控除スルト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラシテ斯ノ如キ控除ヲ致シマシタ結果、所得金額ガ八百圓以下ニナリマシタ場合ニ於テハ、是ハ所得稅ヲ全部免除ヲスルト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ營業稅ニ付キマシテハ、營業ノ用ニ供シテ居リマス所ノ家屋其他ノ建造物トカ、或ハ運送業ニ於テハ運送ノ用ニ供シテ居リマシタ船舶デアルトカ、或ハ製造工業ニ於キマシテ其機械器具ト云フヤウナモノヲ全部、或ハ其大部分ヲ減失致シマシタヤウナ場合ニ於キマシテハ、營業稅ノ第二期分ヲ全免ヲスルコトニ致シタノデアリマス、是ハ營業稅ノ立前カラ云ヒマス、或ハ其爲ニ其年ノ利益ガ減少シテ參リマシタナラバ、營業稅法ノ第二十九條ニ依リマシテ其損害額ヲ引

キマスル結果トシテ、或ハ税金ノ免除ガ出来ルコトニナラウト思フノデアリマスケレドモ、併ナガラ今回ノ震災ニ於テ其營業場所ヲ焼クトカ、或ハ商品ノ大部分ヲ燒キマシタヤウナ場合ニ於テハ、當然其處ニ相當ナ損害ガアルト云フコトハ推定スルコトガ出来ルノデアリマスルカラシテ、第一期ハ既ニ申上ゲマスル通り、六月ニ於テ既ニ納税済ニナッテ居ルノデアリマス、唯二期分ガ十一月ニ殘ッテ居ッタノデアリマス、カラシテ、其第二期分ヲ之ヲ全部免除スルト云フ立前ニ致シタノデアリマス、サウシテ更ニ尙ホ營業稅ニ付テハ此第二十九條ニ依リマシテ、其年ノ利益ガ其年ノ稅額ニ達シナイ場合ニ於テハ、其不足分ヲ免除スルコトニナッテ居リマスガ、其年ノ利益ヲ算出スル上ニ於テ、個人ニ於テ固定資本ノ減失トカ損害トカ云フモノハ、其年ノ損金ニ立テナイコトニナッテ居ルノデアリマスガ、是モ今回ノ震災ニ依ッテ營業ノ用ニ供シテ居ッタ所ノ固定資本ガ減失シマシタ場合ニ於テハ、其見積金額ヲ矢張其年ノ損金ト見ルコトニ致シマシタ、其爲ニ第二十九條ヲ適用スル場合ニ於キマシテモ、非常ニ其苦痛ヲ輕減スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、第三種所得稅並ニ營業稅ノ輕減ニ付テハ、大體以上申上ゲタ通りデアリマシテ、詳細ノ事ハ尙ホ規定ニ種々アルノデアリマスガ、是等ニ付テハ既ニモウ時モ經テアルコトデアリマスカラシテ、更メテ私ガ此處ニ詳シク申上ゲルマデモナイコト、思ヒマスカラ省略致シマシテ、御疑問等ガアリマシタナラバ、御尋ニ應ジマシテ詳細御答テ申上ゲタイト思フノデアリマス、次ニ輕減免除ハ以上申ス通りデアリマスガ、當時丁度此

第三種ノ所得稅ト云フモノ、第一期ガ始リマス、又續イテ營業稅ノ納期モ參リマスルシ、或ハ地租ノ納期モ參リマス、或ハ納期ノ定テ居リマセヌモノニ、即チ第一種ノ法人ノ所得稅デアリマス、或ハ相續稅ノ年割額ノ期限デアリマスカト云フヤウナ風ナモノガ、此九月以後ニ到來致シマスモノニ付キマツテハ、前申上ゲマスル通り當時人心ガ著シク不安ニ陥ッテ居リマス際ニ於テ、是等ノ税金ノ徵收ヲ致シマスルト云フコトハ、非常ニ人心ニ惡イ影響ヲ及ボシ、其安定ヲ妨ゲルモノト考ヘタノデアリマス、又一方ニ於テハ是等徵收ノ事務ニ當ッテ居リマスル所ノ市區町村ノ役場ニ於キマシテモ、震災ノ爲ニ或ハ役場ガ燒失ヲシテ、是等ノ善後ノ事務ニ忙殺サレテ居ルモノモアリマス、或ハ震災ノ被害ノ比較的輕クアリマシテ、避難民ノ救助デアルトカ、或ハ被害者ノ救助等ニ於テ、或ハ其食糧品ノ配給ト云フヤウナ救護事務ニ忙殺サレテ、其當時ニ於テハ到底徵收ノ事務ヲ取扱フニ困難デアルト云フ事情ガ一方ニ於テ在ッタノデアリマス、主タル目的ハ人心ヲ安定セシムルト云フ趣旨ヲ以チマシテ、ソレ等ノ納期ノ到來シタル所ノ地租、所得稅、營業稅、相續稅等ニ付テ、是等ノ徵收ヲ猶豫スルコトガ出来ルト云フコトニ、緊急勅令ノ第二條ニ於テ規定サレテ居リマシテ、震災地ニ於テハ本年度ニ納付スベキ租稅ニ限ッテ居リマス、而シテ其震災地ヲ定メマスルコトニナリマシテ、之ニ就テハ前ニ申シマシタ通り、震災ノ被害ガ其地方ニ於テ非常ニ著シカッタ處、即チ多クノ人ガ非常ニ苦痛ヲ受ケテ居ル處、或ハ比較的被害ハ少クアツテモ、是等ノ被害地ニ

接續シテ居ル處、或ハ其近傍デアッテ避難民ノ收容救助、或ハ震災地ノ救助ニ非常ニ事務ノ多忙デアッタヤウナ處ニ於キマシテ之ヲ定メタノデマスマス、加フルニ當時ハ金融ノ狀態モ非常ニ梗塞シテ居リマシテ、御承知ノ通り當時支拂猶豫ノヤウナ制度モアツタノデ、其爲ニ納稅義務者ガ非常ニ不便ヲ感ジテ居ッタノデアリマスカラ、是等ニ付テノ徵收ノ猶豫ヲ致シマシテ、十月ノ末マデニ納期ノ來ルモノヲ全部猶豫シテ、更ニ其後ニ於テ稍々人心モ安定シテ、金融機關モ相當支拂ノ出來ルヤウニナッテ參ッタノデアリマスカラ、其以後ニ於テハソレソレノ稅ニ依ッテ納期ヲ定メタノデアリマス、大體ニ於キマシテハ十月ノ末マデ猶豫サレテ居ッタノデアリマス、唯、第三種ノ所得稅ニ付テハ、九月ニ於テ第一期ノ納期ヲ延バシテ居リマシタカラ、之ヲ本年度内ニ取ルト致シマス、他ノ納期ト重複スル虞ガアリマスカラ、是ダケハ來年ノ五月ニ延バシタノデアリマス、其他ハ十二月二十日迄ト云フコトニ致シマシタ、併ナガラ震災ノ被害ヲ受ケタ者ニ付テハ、更ニ其申請ヲ待ッテソレノ納期ヲ定メタノデアリマス、是ハ大藏省令第二十六號ヲ以テ納期ヲ定メタノデアリマス、大體ニ於テ本年中ニ取ルモノモアリマスシ、來年中ニ取ルモノモアリマス、第一種ノ法人ノ所得稅ニ付テハ、震災前ニ相當ノ收益ヲ上ゲテ所得稅ヲ納ムベキモノデアッタガ、震災ノ爲ニ非常ナ損害ヲ受ケテ、今日ニ於テハ納稅ガ困難デアルト云フモノニ付テハ、五年以内ノ延期ヲ許スコトニ致シマシタ、相續稅ニ付テモ同様、震災前ニ相續ヲ開始シテ決定ヲ受ケテ居ルモノデ、ソレ等ノ相續財產ガ燒失シテ納稅ガ困難デア

ルト云フ者ニ付テハ、五年以内ノ延納ヲ與ヘルコトニ致シマシタ、其他ノ稅ニ付テモソレノ規定ヲ設ケタノデアリマス、是等ニ付テ詳シイ事ヲ申上ゲルコトハ煩雜ニ宜リマスカラ、御尋ニ依ッテ御説明ヲ申上ゲマス、大體以上ヲ以テ其大要ヲ申上ゲタト存ジマス

○中西委員長 御質問ガアリマスレバ……

○清水委員 二點程簡單ニ御伺致シマス、第一ニ勅令第四百十號ヲ見ルト震災被害者ノ直接ノ問題ダケデアリマスガ、事實ニ就テ見ルト、或ル製造業者ガ問屋ニ委託シタ所ノ商品ガ燒ケタト云フ場合、其損害ハ問屋ニアラズシテ製造業者ガ負フト云フコトデアリガ、斯ウ云フヤウナ間接ニ損害ヲ被ッタ者ニ對シテハ、猶豫スルトカ、免除スルトカ、輕減スルト云フ御考ハナカッタノデアリマスカ

○黒田政府委員 御尋ノ通り勅令ニ於キマシテハ有形的ノ財産ニ付テ、損害ヲ受ケタ者ニ付テ輕減又ハ免除スルコトニ致シマシタガ、其實上代金等ニ付テノ損害ハ含シテ居リマセヌ、御話ノヤウニ商品ヲ燒イタト云フヤウナ者ニ付テハ、前申上ゲタヤウニ營業者ガ震災ノ爲ニ商品ヲ消滅シタ場合ニハ、所得稅ニ於テ其損害額ヲ所得金額カラ引キ、或ハ營業稅ニ於テハ第二期分ヲ免除スルコトニナツテ、ソレニ付テハ規定ガアリマスガ、商品デナイ單純ノ債權ガ取レナカッタト云フヤウナモノニ付テハ、債權ガ果シテ取レヌノデアルカドウカ、或ハ只今ハ取立ガ困難デアッテモ、其後債務者ガ資力ヲ漸次回復シテ取立テ得ルモノデアルカ、是等ニ付テノ損害デアアルカドウカ見ルノハ困難デアリマス、故ニ勅令ニ於テハ大體有形的ノ損害ヲ受ケテ、

其損害モ前ニ申シマシタ通り、家ノ燒ケタ者ハ家ガ大キクテモ小サクテモ、亦家財ヲ多ク持ッテ居ル人モ、少ク持ッテ居ル人モ、大體ニ於テ自分ノ住ンデ居ル家ヲ燒イタ、家財ノ大半ヲ失ッタト云フ者ニ付テハ免除スルト云フヤウナ標準デ參ッタノデアリマス、今ノ御話ノヤウナ債權ト云フヤウナモノニ付テハ、評價ガ困難デアリマスカラ、是等ノモノハ損害ノ中カラ除外致シタヤウナ次第デアリマス

○清水委員 大體ハ了解致シマシタガ、更ニ減收スベキ金額ハ凡ソドノ位ナ豫算デアリマスカ、人員ニ付テモ御調べガアリマシタラ……

○黒田政府委員 人員ニ付キマシテハ目下調査中デアリマシテ、是等ノ震災被害者ノ減免ノ申請ハ來年一月末日迄宜シイコトニナツテ居リマスカラ、果シテドレダケノ申請ガ出テ來マスカ未ダ明確デアリマセヌ、ソレデ正確ナ數ヲ申上ゲルコトハ困難デアリマスガ、震災地ニ於ケル大體ノ見積ヲ致シテ見マスルト、所得稅ニ於テ約二十五六万人ニナラウカト思ッテ居リマス、營業稅ニ於キマシテ十一二万人ニナラウカト思ッテ居リマス、ソレヲ合セマシテ三十七八万人ニナルノデアリマス、是ハ震災地以外ニ於キマシテモ輕減免除ヲ受ケル者ハ、前御話ノアリマシタ通り商品等ヲ運送中ニ燒イタトカ、或ハ倉庫ニ置イテ燒イタ所ノ損害ト云フモノモ見ルノデアリマスガ、震災地デナイ所ノ或ハ大阪トカ、京都トカ云フ地方ニ居リマスル者モ、被害者ニ爲リ得ルノデアリマスカラ、ソレ等ノ數モマダ正確ナコトハ分リマセヌ、大體ノ見積御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ稅額ニ付キマシテハ、是ハ震災ノ減免稅ノ規定ニ依ッテ輕減免除サレテ減ジマ

スルモノト、ソレカラ徵收猶豫ヲ致シテ、本年度ニ入ルベキモノデアアルガ、之ヲ來年度ニ延ベルモノデ、十二年度ニ於テ減收ニナルモノト、ソレカラ震災ノ結果課稅標準ガ減ジタ爲ニ當然稅額ノ減ルモノデアリマス、或ハ震災ニ因ッテ經濟界ノ打撃ノ爲ニ消費稅等ニ於テハ、消費ノ減少ノ爲ニ稅額ノ減ルモノデアリマスカラ、是等ノ色々ノモノヲ見マシテ、震災ニ因ル減額ガ大體十二年度ニ於テ、各種ノ稅ヲ通ジマシテ一億三千万圓位ノ見積ヲ致シテ居ルノデアリマス

○清水委員 其内容ノ凡ソガ分リマセヌカ、所得稅、營業稅ノ部分デ……

○黒田政府委員 十二年度ノ御尋デセウカ

○清水委員 サウデス

○黒田政府委員 ソレデハ内容ニ入リマシテ大略ヲ申上ゲマス、地租ニ付キマシテハ緊急勅令ノ結果トシテ徵收ガ猶豫サレテ本年度ニ入ラスモノデアリマスガ、其他——緊急勅令ニハ規定ガアリマセヌガ、地租條例ニ依リマシテ震災ノ爲ニ或ハ湮滅ニナリ、或ハ收穫皆無ニナツタ爲ニ減損スルモノデアリマス、サウ云フヤウナコトデ本年度ニ入リマセヌモノガ百五十萬圓アラウト思ッテ居リマス、ソレカラ所得稅ニ付キマシテハ矢張徵收猶豫ニナツテ翌年度ニ參ルモノモアリ、或ハ震災後決定スル第一種所得稅等ニ付キマシテハ、震災ノ影響トシマシテ、今マデ利益ヲ得ツ、アッタ會社モ利益ガ少クナッタト云フコトデ、當然減少スルモノモアリマス、第二種ノ所得稅ニ付キマシテハ、毎年翌月納メルコトニナツテ居リマスガ、是等モ預金ノ減少ト云フヤウナコトガアリマス、是ハ法令ノ規定デアハ

リマセスガ當然減收ヲ來シマス、第三種ノ所得税ニ付キマシテハ、第一期分ハ來年度ニナル次第デアリマス、被害者ノモノニ付キマシテハ來年以降ニ徴收ヲ猶豫スルコトニナリマシタカラ、是等ノ爲ニ減少ヲ來スノデアリマス、是等ヲ合セマシテ所得税ニ付テ七千五百萬圓ニモナラウカト思フテ居リマス、營業税ニ付キマシテハ、營業所トカ或ハ商品ノ大半ヲ焼イタ者ニ付テハ、第二期分ヲ免除スルノデアリマスカラ、是等ハドノ位ニナルカ、先程申シマシタヤウニ人員モハツキ致シマセスカラ正確ニ分リマセスガ、其他二十九條ニ依リマシテ減損更訂ト云フ風ナコトモアルノデス、又被害者デアリマセスデモ徴收ガ後レルト云フ風ナモノモアリマスカラ、是等ヲ見込ミマシテ震災ニ因ル減少ハ約八百萬圓見當ニ致シテ居ルノデアリス

○清水委員 相續税ハドウデスカ

○黒田政府委員 相續税ニ付キマシテハ、是モ徴收ヲ猶豫サレルモノガ多イノデアリマス、又震災後一二箇月ノ間ト云フモノハ、其前ノ相續ニ付テモ到底決定スルヤウナ運ビニ行キマセヌノデ、自然後レルコトニナッテ居リマス、其結果約三百萬圓位ノ減少ヲ見テ居リマス

○清瀬委員 減少ト云フノハ猶豫ノデスネ

○黒田政府委員 相續税ニ付テハ猶豫デス、ソレカラ酒ノ税ニ付キマシテハ、震災地ニ於テ酒ノ亡失——貯藏シテアル桶ガ破壊致シタリシテ溢レタ、或ハ腐敗シタ、壁ノ泥ガ遺入ッタト云フコトノ爲ニ腐敗シタト云フヤウナ廢棄ニ屬スルモノハ、酒造税法ノ規定ニ依ッテ免税スルコトニナッテ居リマス、ソレ等ノ高モ調査致シマシテ免税ニ致スノデ

アリマス、其他徴收ノ困難ナモノ、震災ノ被害ヲ受ケタモノノ徴收困難ナモノデ、事實上取レナイモノモアラウト思ヒマス、ソレ等ヲ見積ッテ居リマスガ、併シ此數ハ餘リ申上ゲルコトハ困リマスガ、法令ノ規定ニ依ッテ當然デナイノデアリマスカラ、餘リニ政府ガ是ガ取レナイモノト思ッテ居ルト、納税者ノ方ニ於テ非常ニ心ガ緩ムノデアリマスカラ、是ハ御許ヲ願ヒタイ、又後デ申スコトニ致シマスガ、サウ云フ金額ヲ見積ッテ居ルノデアリマス、關稅等ニ於テモ、今日議題ニナッテ居リマスルヤウナ輸入税ノ免税ノ勅令ガ出マシタ結果ト致シマシテ、ソレ等ノモノ、免稅ガ相當ニアルノデアリマスカラシテ、是ハ相當ノ減收ヲ見テ居リマス

○清水委員 關稅ハドノ位アリマスカ

○黒田政府委員 先ヅ二千餘萬圓ト見テ居リマス

○清水委員 ソレハ今マデノ例デアリマスカ、或ハ今ヨリ多クナルモノガアリマスカ

○黒田政府委員 多クナッテ居ルモノハ大體免稅品ガ多クナルノデアリマシテ、詰リ復興ノ爲ニ必要ナルモノニ對シテ免稅致シタノデアリマスガ、サウ云フモノガ多イカラシテ、幾ラ數字ガ平生ヨリ殖エマシテモ影響スル所ハナイノデアリマス、金額モ先ヅ平時ニ於テ遺入ッテ來ベカリシモノガ、免稅ノ結果減ルモノヲ見タ積リデ居リマス

○清水委員 十二年度ニ於テ一億三千萬圓ノ程度ノ減收ガアリマスカ、十三年度ニ於テハソレガドノ位回復ガ出來マスカ

○黒田政府委員 十三年度ニ於キマシテハ色々ノ税ニ付テ稍々回復ヲシテ參ル、例ヘバ營業税ノ如キハ第二期ヲ被害者ニ就キマシテハ全部免除スル

ト云フコトガアリマシタガ、先ヅ來年度ニ於テハサウ云フモノヲ見マセヌノデアリマスカラシテ、自然幾分カ回復シテ來ル、其上ニ賣上等ニ付テモ相當回復シテ參ルカラ、自然ニサウ云フ風ニ回復シテ來ルモノモアリマシ、ソレカラ本年度徴收猶豫ニナッタモノデ、本年度遺入ッテ來ルモノモアリマス、徴收猶豫ノモノモ猶豫ニナルト缺點ニナルモノガ相當ニアリマスガ、來年度以後ニ於テ遺入ッテ來ルモノモアリマスカラ、ソレ等ノ繰越額ヲ除キマシテ、震災ノ結果——來年度ニ於テ若シ震災ナカリセバ、收入ノアルベキモノト云フモノニ對シテドレダケ減少スルカト云フコトヲ見タノデアリマスガ、ソレハ大體一億一千萬圓位ノ豫定デアリマス

○清水委員 二千萬圓程回復スル積リデアリマスカ

○黒田政府委員 先ヅザツトサウ御諒解ヲ願ヒマス

○横山委員 只今ノ續キヲ一寸序テニ確メテ置キマスガ、御答ニ依リマスト十二年度ニ各種ノ稅ヲ通ジテ一億三千萬圓ノ減收ヲ來ス、其中デ地租、所得稅、營業稅、相續稅、關稅ダケハ數額ヲ御示シニナリマシテ、後ハ徵稅上ノ便宜ヲ圖ルト云フ意味ニ於テ明言スルコトヲ見合セタイ、是ハ御尤デアリマスガ、サウ致シマス、今項目ヲ舉ゲソレニ對シテノ稅額ヲ御示シニナリマシタ以外ガ、酒造稅ニ付テ酒ノ亡失腐敗等、稅法ニ依ッテ免稅スルモノ、即チ酒ノ亡失腐敗ノ結果免稅スルモノ、其他徴收ノ困難ナルモノ、是ダケガ今ノ數額ヲ御舉ゲニナリマシタモノニ對スル不足ヲ埋メル譯ニナリマスカ、サウ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○黒田政府委員 大體左様ニ御承知ヲ願フデ宜シ
イカト思ヒマスガ、唯、減收ヲ總テ見テ居ル中ニ
増收ヲ見テ居ルモノモアルノデアリマス、ソレハ
兌換銀行券ノ發行デアリマス、是ハ震災以後非常
ニ兌換券ノ發行ガ殖エマシタ、是ハ御承知ノ通り
デアリマス、其結果ト致シマシテ、發行稅並ニ制限
外ノ課稅ト云フモノガ殖エテ來タノデアリマシ
テ、是ハ略々實蹟ニ依リマシテ加算ヲ致シマシタ
ノデアリマスガ、是ハ御承知ノ通りニ制限外ガ九月
以後ハズト續イテ居ルヤウナ譯デアリマス、其爲
メ發行稅並ニ發行制限外ノ課稅ガ相當殖エテ居ル
ノデアリマス、ソレ等ノ増收ヲ差引クトサウナル
ノデアリマス、大體サウ云フ風ニナルノデアリマ
ス

○横山委員 只今ノ清水君ニ對スル御答ノ中デ、各
種ノ稅ヲ通ジテ一億三千万圓ト云フコトデ、色々
御深切ナル御説明ガアリマシタガ、私ノ承リタイ
ノハ、モウ一ツ租稅免除ニ關スル件ト云フ勅令ニ
付テノ、第一條ノ震災被害者ノ納付スベキ免除輕
減ト云フモノト、震災地ニ於ケル徵收猶豫ト云フ
モノガアルノデアリマス、先ヅ私ハ第一條ニ對
スル分ノ被害者ニ對スル減稅ノ割合ガドウナッテ
居ル、カ同ジ被害者ノ中デモ免除ト輕減トヲ分ケ
テ、サウシテ第二條ノ震災地ニ於ケル所ノ猶豫、是
ハ今ノ第一條ノ御答ヲ承レバ自ラ分ルト思ヒマス
ガ、其區別ヲ御答願ヒタイ、尙ホモウ一ツハ人員ニ
付テ所得稅ハ二十四五万人、營業稅ハ二十一二萬
人ト思ヒマスガ、此人數ハ猶豫減免總テ合シマ
シテノ人員ト思ヒマスガ、ゾレノ區別ガ付イテ、調
ガ付イテ居レバ御答ヲ願ヒタイ、被害減免稅ノ分

ガ幾人、ソレカラ震災地ニ於ケル猶豫ガ幾人、若シ
今日出來テ居リマセヌケレバ表デモ宜シイカラ御
示ガ願ヘレバ願ヒタイ、例ヘバソレニ付テ附加ヘ
テ申シテ置キマスガ、今日御答ノ猶豫、減免稅、標準
額低下ノ爲メ十二年度ノ地租ノ地租條例カラ見テ
猶豫シタモノ、所得稅ノ中カラ猶豫シタモノ、標準
ノ低下シタモノニ付テ色々御説明ガアリマシタ、サ
ウ云フモノヲ區別シテアレバ御示ヲ願ヘレバ仕合
セデアリマス、ソレカラ是ハ私ノ不調ベカモ知レ
マセヌガ、大藏省ノ調ヲマダ讀ンデ居リマセヌカ
ラ念ノ爲メ伺ッテ置キマスガ、今御答ノ中デ所得稅
ノ免稅ノ如キ、例ヘバ大正十二年勅令四百十號ノ
施行ニ關スル勅令四百三十三號ノ一條ニ於テ、大
正十二年度ノ第三種ニ對スル所得稅ヲ免除スル
ト云フコトガアリマスガ、是ハ其納期ガ來マスレ
バ免除ナサルデアリマセウガ、其時ニ滯納ヲ致シ
テ居ルタ者ニハドウ云フ御處置ヲ執ルノデアリ
マスガ、此書方ニ依ルト既往ノ分ニモ及ビハシナ
イカ、此御趣旨モ序ニ御確メヲシテ置キタイ
○黒田政府委員 御答致シマスガ、初ニ御尋ニナ
リマシタ先程申上ゲマシタ減收額ヲ免稅ノ人員並
ニ稅額猶豫ノ人員並ニ稅額ト分ケテ示シテ貰ヒタ
イト云フ御尋ト拜承致シマシタ、先程申上ゲマシ
タヤウニ實ハ減額ヲ申請致シマス者ハ來年一月一
日迄ト致シテ居ルノデアリマスカラ、被害者デア
リマシテモ其人ハ必シモ減免ヲ申請スルトモ限ラ
ヌノデアリマス、輕微ナル損害デアリマシデモ、實
ハ勅令ノ四百三十三號第三條ノ第二號ノ丙ト云フ
ノモアルノデアリマスカラ、是等ハ其人ニ依ッテ
或ハ申請スル人モアリマスシ、シナイ人モ相

當アルドラウト思ヒマス、今日ニ於テハ正確ナル
數ヲ見積ルト云フコトハ實ハ困難デアリマス、ソ
レガ爲ニ前ニモ兩方合セテ數ヲ大體申上ゲタノデ、
此震災被害者ノ調査ハ實ハ大體ノ見込デアリマ
スガ、更ニソレヲ分ケテ申上ゲマスコトハ非常ニ
困難デアリマス、歲入ノ減ヲ見積ル上ニ於テモ、サ
ウ正確ニ數ヲ分ケマセヌデ、大體ノ標準ヲ致ス
ノデアリマスカラ、其内譯ハ成ベクナラバ、御許ヲ
願ヒタイト思フノデアリマスガ、唯、御參考マデ
ニ、丁度先程第二條ノ例ヲ御取リニナタノデアリ
マスガ、一万圓以下ノモノニ付キマシテハ免除ス
ル、一万圓カラノモノデアッテ、其住宅又ハ家財ノ
過半カ用ヲ爲サルニ至ツタモノハ免除スルト云
フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、然ラバ一万圓
以下ノ納稅者ガドレ位アルカト云フコトヲ御參考
ニ申上ゲテ御許ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、是
レハ東京府デ申シマスルト、所謂納稅者ノ中デ資
本金額ガ一万圓以下ノ者ハ、總納稅人員ノ約九割五
分アルノデアリマス、神奈川縣ニ於テハ九割七分
コトハ申サレナイノデアリマスガ、全部ノ比例ヲ
申シマスルト、大體サウ云フヤウナ數字ニナッテ居
ルノデアリマスカラ、其程度デ御許ヲ願ヒタイト
思フノデアリマス、時ヲ御許シ下サイマシテ之ヲ
分ケマシテモ、非常ナ推測ノ數字ニナルノデアリマ
ス、又來年ニ入リマシテ猶豫ヲ願ッテ來ルモノニ就
キマシデモ、猶豫ノ方ハ大體各地ニ於テ所得稅ニ付
テハ出揃ッタト思ヒマスケレドモ、マダ正確ナ數字
ヲ報告ヲ得テ居リマセヌ、又免稅ノ方モ前申ス通り
來年デナケレバ分ラヌヤウナ次第デアリマスガ

ラ、今日申上ゲルノハ非常ニ困難ニ感ジテ居ルノ
デアリマス、ソレカラ第二點ハ、第二條ノ場合ニ於
テ滞納アリシテ居ル者モアルダラウト云フ御尋ト承
ツタノデアリマスガ、第二條ハ十二年分ノ第三種ノ
所得稅ト云フコトニナツテ居リマシテ、十二年分ノ
第三種ノ所得稅ハ九月カラ納期ガ始マルノデアリ
マスカラ、未ダ滞納ガ一ツモ出來テ居ラヌノデアリ
マス

○神谷委員 此所得ノ減免ニ付テ御尋シタイノデ
アリマスガ、主タル所得ノ收益スル所ノ標準額ニ
據リマセズ、只今御説明ガ一寸アリマシタ通り
第二條デアリマスガ、住宅又ハ家財ノ過半ガ震災
ニ罹ッタ場合ハ所得稅ヲ減免スルト云フ規定ニナッ
テ居リマスガ、サウ致シマスルト、他ニ如何ニ所得
ガ澤山アリト雖モ、住宅ト家財トヲ失ヒサヘスレ
バソレデ所得稅ハ減免スル、斯ウ云フ御趣旨ノヤ
ウニ承ツテ宜シカラウト思ヒマスガ、ソレヲ明確
ニ御願ヒシタイ、ソレカラ此家財ノ方デアリマス
ガ、此家財ト云フモノハ如何ナルモノガ家財ニ含
マレテ居リマスガ、是ハ頗ル廣汎ナモノデアリマ
ス、之ヲ一寸御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ尙ホ是等
ニ對スル附加稅デアリマスガ、主タル本稅ガ無ク
ナツテ見レバ、此附加稅モ共ニ減免サレルト云フ
コトハ當然ノ歸着ダト思ヒマス、此點モ御尋致
シタイ、尙ホ現ニ徵收シタル所ノ第一期以後ノ
モノハ免除スルト云フヤウナ御話デアリマス
ガ、所得稅ニ對シテハ第一期ヨリ既ニ納入
シタルモノモ還付スルコトニナツテ居リマスガ、ソ
レヲ併セテ御尋致シタイ

○黒田政府委員 御尋ノ第一ハ御尋ノ通りデア
ル

第五類第六號

大正十二年勅令第四百十號(承諾ヲ求ムル件)(租稅減免ノ件)委員會議錄 第一回 大正十二年十二月十五日

ト考ヘルノデアリマスガ、私聞違ヘテ居ルカモ知
レマセヌノデ重ネテ申上ゲマスガ、其人ノ所得ガ
總テヲ合セマシテ一萬圓以下デアリマシタナラ
バ、其人ハ如何ニ小サナ家ニ住ッテ居ッテモ、如何ニ
大ナル家ニ住ッテ居リマシテソレガ燒ケマシテモ、
又家財ヲ非常ニ澤山所有シテ居リマシテモ、極ク
僅カナ家財ノ人デアリマシテモ、等シク其住宅又
ハ家財ノ大半ヲ燒失致シマシタモノハ、全部所得
稅ヲ免除スルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマ
ス、ソレカラ次ハ家財ト云フモノ、範圍如何ト云
フ御尋デアリマスガ、家財ハ大體其人ノ生活上必
要デアアル所ノ衣類デアルトカ、或ハ裝身具トカ、或
ハ器具什器、又ハ日常必要ナル書籍デアルトカ云
フヤウナモノハ、總テ包含致シマシテ家財ト認メ
ル積リデアリマスガ、唯、書畫骨董等ニ付キマシ
テハ、非常ニ特殊ノ趣味ヲ以テ書畫骨董ヲ澤山蒐
メラレテ居ル人ガアル、是ハ家財ノ中ニハ包含セ
シメナイ積リデアリマス、唯、生活ノ必要上床ノ
間ガアレバ掛物ノ二ツヤ三ツハ必要デアルト云フヤ
ウナ風ナコトデ、如何ナル家デモ相當ナ書畫ガア
ルノデアリマスカラ、ソレ等ノ程度ニ於キマシテ
ハ矢張家財ト見ル積リデアリマスガ、特殊ノ趣味
ヲ以テ蒐メラレテ居ルヤウナ書畫骨董ノヤウナ物
ハ家財ノ中ニ包含セノメナイ積リデアリマス、是
ハ家財ノ中ニ入レルガ其人ノ利益カ、入レナイノ
ガ利益カ、一概ニハ申サレナイノデアリマス、家財
ノ過半ガ震災ニ依リ減失シ又ハ其用ヲ爲サルニ
至リタルモノト云フノデアリマスカラ、書畫骨董
ヲ家財ノ中ニ加算致シマス、非常ニ高價ナ書畫ガ假
ニ出マシテモ、家ガ燒ケマシテ持出シタ場合ニ於

テ、其他ノ家財——所謂家財ヲ全部燒キマシテモ、
唯、一幅ノ書畫ガ出マシタ爲ニ、ソレガ高價デア
ルカラ過半ニ達シナイ、減稅ヲサレナイト云フ結
果ガ起ルノデアリマス、故ニ家財ニ之ヲ入レルガ
利益カ、入レナイ方ガ利益カト云フコトハ、一概ニ
申サレナイノデアリマスガ、兎ニ角解釋ト致シマシ
テハ、前申上ゲマス通り生活ニ必要ナキ書畫骨董
ノ如キハ家財ノ中ニ包含セシメナイ取扱ニ致シテ
居リマス、ソレカラ附加稅ニ付キマシテハ、勿論本
稅ガ免除輕減サレマスナラバ當然附加稅ハ課ケナ
イコトニナルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカ
ラ第三種所得稅ノ第一期ノ分ハ既ニ徵收シテ居リ
マシタト致シマス、其人ガ震災被害者デアリマ
シテ、此勅令ニ依リマシテ輕減若クハ免除ヲ受ケル
ト云フコトニ申請ガアリマシテ決定ヲ致シマシタ
ナラバ、勿論超過致シテ居リマス税金ハ還付ヲ致
ス積リデ居リマス

○清瀬委員 方々ニ家財トカ或ハ商品原料全部、又
ハ大部分ガ減失シ又ハ其用ヲ爲サルキト云フ
ヤウナコトガアリマスガ、一體其證明ト云ヒマス
カ、或ハ立證ト云フモノハ、唯、稅務署ノ認定ニ依
ルモノデアルカ、或ハ何カ別ニ調査ノ方法ヲ御執
ニナツテ居ルカト云フコトガ一ツ、モウ一ツハ第十
四條ニ大正十二年十月三十一日迄ニ納期限ノ到來
スルモノニ付テハ其徵收ヲ猶豫シ、大正十二年十
一月一日以後ニ於テ大藏大臣其納期限ヲ定ムト云
フコトニナツテ居リマスガ、是ハ何時頃ニ御定メニ
ナル御豫定デアリマスガ、伺フコトガ出來レバ伺
ヒタイ

○黒田政府委員 御尋ノ第一ニ付キマシテハ、是

ハ被害者ノ申請ヲ待チマシテ、サウシテ稅務署ニ於テ相當是等ニ付テノ調査ヲ致シマシテ、或ハ申請者ヨリ更ニ相當立證スルヤウナ方法ヲ講ジテ貰フ場合モアラウト思ヒマス、或ハ周圍ノ事情カラソレヲ認メ得ルモノニ付キマシテハ大體ソレ等ヲ見マシテ、サウシテ決定ヲ致ス積リデアリマス、之ニ就キマシテハサウ無理ノ行カナイヤウニスル積リデ、能ク司稅當局ノ方ニハ申シテ居ルノデアリマス、ソレカラ第二ノ徵收猶豫ノ十四條ノ規定デアリマスガ、是ニ前ニ一寸御説明ヲ申上ゲタノデアリマスガ、御出デニナリマセヌ時デアリマシタノデ重ネテ申上ゲマスガ、兎ニ角本年ノ十月ノ末迄ニ納期ノ來マスモノハ、一先ツ全部猶豫シテ置キマシテ、サウシテ十一月以後ニ於テハ大藏大臣ガ其納期ヲ定メルコトニ致シマシテ、其納期ノ規定ハ次ニアリマス大藏省令ノ二十六號ニ於テ定メタノデアリマス、ソレデ第三種所得稅ノ第一期分ニ付キマシテハ、既ニ納期モ過ギテ居ッテ、之ヲ本年度内ニ取ルト云フト、他ノ納期ト重複ラシ、若クハ他ノ租稅ト重複スルコトニナリマスカラ、之ヲ來年ノ五月ニ猶豫シマシテ、其他ノ稅ハ十二月二十日ト云フモノヲ納期ニ致シタノデアリマス、其他ニ付キマシテハ、震災被害者ノ申請ニ依ッテ、地租其他ニ付テハソレノ實ハ納期ヲ定メタノデアリマシテ、震災被害者ガ申請ヲ致シマスレバ、第二期以後ノ第三種所得稅ノ納期モ來年ノ五月以後ニ延スノデアリマスガ、來年ノ五月以後大正十四年ノ二月末日迄ノ内デ、稅務署長ノ適當ト認ムル時期ト云フコトニ致シテ居リマス、是ハ大體申合セマシテ、他ノ稅トノ關係モ考慮致シマシテ、納稅者ノ最モ

便宜ノ時期ト考ヘマス時期ニ於テ、矢張前ト同ジヤウニ數期ニ分ケマシテ、成ベク他ノ稅ト重複ヲシナイヤウニ致シテ期限ヲ定メル積リデ居リマス、第一種所得稅並ニ相續稅ニ付テハ五年以内ノ延納ヲ許スト云フ規定ニ致シテ居ルノデアリマス、其點ハ此省令ニ於テ全部解決ヲ致シテ居リマス

○神谷委員 今二點バカリ御尋致シタイ、所得稅ニ付キマシテ住宅ヲ二戸持ッテ居ル場合ガアリマス、其二戸ノ内一戸ガ損害ヲ受ケタ場合ニハ何レノ方法ニ出ルカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ震災地以外ノ被害者デアリマスガ、第一條ニ震災地トシテ規定セラレタ郡ニ接近シテ居ル所ノ、例ヘバ埼玉縣ニ於キマシテ秩父郡、大里郡ノ如キモ多少接近シテ居リマスカラ、此被害ガ無イトモ限ラスノデアリマス、又高崎方面ニモアラウト思フ、サウ云フ場合ニ於テハ是レノ恩典ニ浴スルコトガ出來ルカ出來ナイカト云フコトヲ御尋シタイ、以上二點ニ付テ伺ヒマス

○黒田政府委員 御尋ノ初メノ點ハ、御話ノヤウニ住宅ガ二箇所以上アル場合モアラウト思ヒマス、勿論時々保養ニ行ク位ナ別荘トカ云フ風ナモノハ、所謂住宅ト云フ中ニハ包含セシメナイ積リデアリマスガ、併シ或ハ東京ニ於キマシテ下町ト山ノ手ノ方ニ住宅ヲ持ッテ、兩方ニ生活シテ居ルト云フ人モアラウト思ヒマス、サウ云フ場合ニ於キマシテ、是等二ツノモノヲ通ジテ見マシテ、其被害ガ果シテ過半ナリヤ、或ハ過半ニ達シナイ程度デアルカト云フヤウナコトハ、通ジテ見ル積リデ居ルノデアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ノ點ハ、震災地ト云フモノヲ定メマシタノハ、前ニ御説明申

ヒゲマシタヤウニ、第一ニハ被害ノ非常ニ激シカク地方、詰リ被害戸數等ガ非常ニ多イ所ト云フ風ナ點ト、ソレカラ被害ハ多少少クトモ色々ナ救護ノ事務トカ、避難民救助ノ事務ノ爲ニ、非常ニ町村役場ノ事務ガ忙殺サレテ居ル所ト云フ風ナモノヲ標準ト致シタノデアリマスガ、併シ震災被害者トシテ租稅ノ輕減免除ヲ受ケマス者ハ震災地ニハ何等關係ガ無イノデアリマシテ、今例ニ御引キニナッタヤウナ埼玉縣ノ大里郡、或ハ秩父郡ト云フヤウナ處モ、勿論被害ノアルコトハ吾々モ承知致シテ居リマスガ、ソレ等ノ被害ノアリマスモノ、家ガ壞レタモノデアルトカ、家ノ潰レタモノデアルトカ云フヤウナ人ニ付キマシテハ、勿論震災被害者トシテ輕減免除ノ特典ヲ有スルコトニナルノデアリマス

○神谷委員 今一ツ御尋シタイ、震災地ニ於ケル租稅徵收猶豫ト云フ、第一條ニ十二月二十日限り云云トアリマスガ、十二月二十日ハモウ幾日モアリマセヌ、御承知ノ通り本年ノ大被害ニ付テハ通信機關ノ故障等ニ依リ、一切ノ宣傳ガ餘リ民間ニ徹底シテ居リマセヌ、就キマシテハ此十二月二十日ト云フコトガ或ハ納稅者ノ耳ニ入ラスヤウナ嫌ガアルト思フ、ソレガ爲ニ折角ノ恩典ヲ無下ニスルヤウナ嫌ガアルト存ジマス、之ニ對シテ政府ハ各納稅者ニ徹底シ得ベキ方法ヲ御執リニナル御考ガアリマスカ、其點ヲ御尋シタイ

○黒田政府委員 洵ニ御尤デアリマシテ、其點ハ非常ニ吾々モ心配シテ居ッタノデアリマス、其爲ニ折角ノ恩典ニ浴サナイ者ノ出來ルコトハ甚ダ遺憾デアリマスカラ、成ベク徹底スルヤウニ、納稅告知書

ヲ配付致シマス際ニモ、場所ニ依ッテハ稅務官吏方
自ラ出掛ケテ、被害ガアレバ斯ウ云フ恩典ガアリ
マス。ト云フコトヲ話シ、又精シク書キマシタ物ヲ
配リマシテ、サウシテ納稅者ガ此恩典ヲ知ラズニ
過スコトガ無イヤウニ注意致シテ居ルノデアリマ
ス、尙ホ一方ニハ本年ヨリ稅務ノ相談部ト云フモ
ノヲ始メテ見マシタ、此方デモ各所ニ稅務署ノ廳
舎以外ニ於テサウ云フ相談ニ應ジ、其方法等モ納
稅者ニ話ヲスルト云フ風ニ努メテ居ルノデアリマ
ス、尙ホ只今御話ノヤウニ、ドウカシテ期限ヲ經過
スルト云フ風ナコトガアリマシテモ、此際成ベク
無理ノ行カナイヤウニ、期限内ニ申請シテ貰フコ
トヲ希望ハ致シマスガ、多少ソレガ遅レマシテモ
矢張是ハ受付ケルヤウニ致シテ居ルノデアリマ
ス、又納期ノ經過シタ處置ト致シマシテモ、事情ノ
酌量スベキ者ニ對シテハサウ無暗ニ滞納處分ヲ厲
行スルコトノナイヤウニ、成ベク徵收上無理ノ生
ジナイヤウニ努メル積リデアリマス

○清瀬委員 私ノ質問ノ續キデアリマスガ「過
半」ト云フ「ト」其ノ用ヲ爲ササル」ト云フモノ、
認定ニ付テハ證據モ出サセ、稅務署モソレ「調
査スルデセウガ、之ニ就テ爭ヲ生ジタヤウナコト
ハアリマセスカ

○黒田政府委員 只今マデハ減免ノ決定ノ時期ニ
ナッテ居リマセヌ爲ニ、御話ノヤウナ等ノ起ツタ事
實ハアリマセヌ、併ナガラ之ヲ決定致シマス際ニ於
テモ、サウ無理ノ行カナイヤウニヤリタイト思ヒ
マスシ、又一方ニ於テハ既ニソレ「地方ニ於テ、
御下賜金ノ配分等ニ付テ市區町村ガ各人ノ被害狀
況ヲ調査シテ居ルノデアリマス、是等モ相當參考

ニナルダラウト思ヒマス、其他稅務署ニ於テモ既
ニ各地方ニ於テ實地ノ調査ニ著手シテ居リマスノ
デ、サウ相互ノ間ニ爭ノ起ルコトハアルマイト考ヘ
マス

○中西委員長 モウ正午ニ達シマシタカラ今日ハ
此程度ニ止メテ、次會ハ此委員會ニ併託サレルモノ
ガ同付サレルノヲ待ッテ開クコトガ便宜カト思ヒ
マス、ソレデ次會ノ會議ハ公報デ御案内スルコト
ニ致シマス、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○砂田委員 一寸簡單ナ事項デスカラ御許ヲ願ヒ
マス、四百三十三號ノ勅令ノ第六條第十條ニアリ
マス十二年度ノ所得稅、若クハ營業稅ノ所得金額、
或ハ課稅標準ガ不明ニナツタモノ、之ニ就テハ所得
稅調査委員會、若クハ營業稅調査委員會ニ諮問シ
テ政府ガ之ヲ決定スルコトニナッテ居リマスガ、此
決定ヲ爲サルノハ、前ニアル營業稅若クハ所得稅
ノ調査期ノ標準ニ依ッテ決定サレルト云フ意味デ
アリマスガ、震災後政府ガ一定ノ標準ヲ定メテ決定
スルト云フ意味デアリマスガ、何日ノ時期ヲ以テ
之ヲ決定サレルノデスカ

○黒田政府委員 是ハ前申上タル通り既ニ八月ニ
於テ總テ所得ノ決定ハ了ッテ居タノデアリマス
ガ、中ニハ火災ノ爲ニソレガ不明ニナツタモノモア
リマス、是等ニ付テハソレ「色」ナ資料ガアリ
マスノデ、ソレニ依ッテ本年ノ八月ノ調査會ニ於テ
決定シタ金額ヲ、色「ナ資料ニ依ッテ再ビ復活スル
意味ヲ以テ、其時ノ額ヲ算出スルノデアリマス、其
當時ノ金額ヲ算出スルノデアリマス、併シ是ハ決
定サレタモノガ不明ニナツタノデアリマスカラ、直
ニ色「ナ資料カラ稅務署ガ算出致シマシテモ、直

ニ之ニ據ルコトハ穩當ヲ缺クト云フ考カラ、一應
營業稅、所得稅ノソレ「ノ調査會ニ掛ケマシテ、
ソウシテソレヲ決定シテ貰フト云フ考デゴザイマ
ス、ソレ故ニ決マリマスモノハ本年ノ震災前ノ調
査會ニ於テ決定シタ所ノ金額ヲ更ニ確定スルコト
ニナッテ居リマス

○砂田委員 サウシマス稅務署ニ於テ、査定標
準ナリ所得金額ヲ燒失シタ人ハ、自分モ決定額ヲ
忘レテシマヒ、決定ノ通知ヲ失ッテシマッタ人ハ、大
正十三年一月三十一日迄ニ減免稅ノ要求ヲシナイ
場合ニ於テ、此人々ハ恩典ニ浴シナイヤウナ結果
ガ起ッテ來マセヌカ、尤モ十一條ノ末項ニ申請ヲシ
ナイモノデモ政府ガ之ヲ處置スルコトノ出來ルヤ
ウニナッテ居リマスガ、サウ云フ人ハ非常ニ苦痛ヲ
感ズル結果ニナルト思ヒマスガ、是等ハ震災後ニ
決定ナサルノガ穩當デハナイカト思ヒマス

○黒田政府委員 震災ノ被害ノ著シイ人ニ付テ
ハ、御話ノ如ク申請ヲ待タズ政府ノ方ガ減免ノ決
定ヲ致スコトニナッテ居リマスガ、其以外ノ人ニ付
テハ、苟モ自分ガ既ニ本年ニ於テ所得ノ申告ヲサ
レタ方ハ、必ズ所得ノ決定ガアルコトニナル譯デ
アリマスカラ、政府ガ進ンデシナイ、被害ノ程度ハ
矢張申請シテ貰フ積リデアリマス、サウシテ震災
後ノ狀況ニ依ッテ決定シタ宜イデハナイカト云
フ御話デアリマスガ、大體是ガ立方ハ、所得ガア
テモ其人ニ被害ガアレバ減免シヤウト云フノデア
リマスカラ、元ノ所得金額幾許ト云フモノヲ土臺
ニシテ、ソレニ對シテヤルコトニナッテ居リマスカ
ラ、不明ノモノモ同ジヤウニ前ニ幾ラト云フコト
ヲ見ルノガ當然デハナイカ、例ヘバ所得者ニスレ

ベ家ガ焼ケタトシテモ、官吏デアレバ矢張り官吏ヲ罷メナイ限り俸給ノ年額ハアルノデスカラ、シレカラ家ノ焼ケタ者ニハ引イテヤルコトニナリマスカラ、一應元ノ金額ヲ見テ、ソレニ對シテ被害ノ程度ニ依ッテ一万圓マデ免ズルトカ、何万圓マデハ何割ヲ輕減スル方ガ、他ノ不明デナイ人トノ權衡上必要デアルト云フ考ヲ以テ斯様ニ致シタノデアリマス

○中西委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知致シマス

午後零時三分散會